

# 進化する 介護現場



左から赤堀さん、高田さん、小寺さん

昨年6月、社会福祉法人豊中ファミリーの新施設「アリス佐竹台」がオープンしました。最先端技術の導入でどのように働き方が変わったのか、施設長・業務執行理事の小寺 貴裕さん、課長・グループホーム管理者の赤堀 太一さんに話を伺いました。また、同法人施設「アリス千里」から長く勤められている係長の高田 綾さんに実際の現場のようすを教えてくださいました。

## ICT化で業務の負担を軽減

見守りセンサー「眠りSCAN」を全床に設置しています。マットレスの下に敷くだけで、利用者の睡眠状態・呼吸・心拍などを計測、リアルタイムで共有されます。ステーションのモニターだけでなく、スマートフォンとも連動しているため、いつでも状態を確認することができます。

また、数年前は手書きだった記録も、空いた時間にスマートフォンで簡単に入力、閲覧できるようになりました。ほかにも、移乗用リフトや特殊浴槽など、利用者とスタッフ双方にとつて安心で便利な最新機器がそろっています。



『眠りSCAN』を全床に設置

## 現場の声(高田さん)

見守りセンサーのおかげで、夜勤の負担がかなり軽減されました。以前は順番に部屋を回っていましたが、眠りが浅くなったタイミングをモニターで見て、パット交換などに行くことができるので、無理に起こしてしまうこともありません。

## 現場の声(赤堀さん)

厨房職員が朝出勤すると、すでにマシンで温かい食事が準備できている状態なので、配膳までがスムーズです。とても美味しいと評判で、社食として利用するスタッフもいます！



味◎、衛生面◎、作業効率◎な再加熱カート

## 関西初の試み！再加熱カートを導入

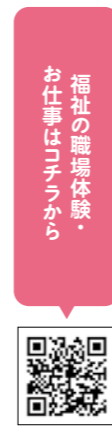
再加熱カートは、冷蔵食材を耐熱食器に盛りつけ、カート内で一時保存し、配膳時間にあわせて自動で再加熱をおこなうマシンです。

アリス佐竹台では、このマシンを導入するため、厨房は必要最低限の設備のみになりました。早朝から出勤したり、夏には厨房内が高湿となったり、調理師の負担となっていた要因を解消しました。時間短縮はもちろん、味・品質もたいへん良い食事を提供できています。

## 介護現場のこれから

ICT化で業務負担が軽減された分、余暇活動や利用者へ話す時間を多くとれるようになりました。

小寺さんは「人対人ならぬのは、よりよい介護ができるようになったと感じます。これから先、シニア層などスタッフが多様化しても、ICT機器を簡単に使いこなせるようにしていくことが大切です。そういった工夫が、働きやすい環境づくり、人材の定着にもつながります」と語ります。



福祉の職場体験・お仕事はコチラから

ふくしを巡る No.26

# 歴史探訪

## 忘れないことが防災になる — 淀川とともに生きてきた治水翁 —

大阪市中心部を通って大阪湾へ流れる淀川。滋賀県と京都府の各河川が合流して約75kmにもなる関西を代表する一級河川じゃ。この淀川で起きた大水害と、淀川の治水に一生を懸けた大橋房太郎を紹介するぞい。

当時の淀川は、自然の恩恵を受けた豊かな菜の花を元に作られる菜種油が有名で、「大坂の水油」と呼ばれる名産物は、江戸を中心に高値で取引されていたそうじゃ。

川の恵みは大きい、一方で、川がもたらす災害は時にすべてを奪ってしまうことも。そのなかでも最も被害が大きかったのが淀川大洪水だったのじゃ。

淀川大洪水は、明治18(1885)年6月15日から7月にかけて記録的な長雨・集中豪雨によって発生。1日で2メートル水位が急上昇した日、交野から淀川本流に流れ込む天野川の堤防が決壊。

ついに大阪府中心部に迫ってきたんじゃ。大阪市の水没を防ぐため「わざと切れ※」でも防ぐことはできず、家屋浸水が7万4千件以上、死者・行方不明者81名、被災者30万人以上。変わり果てた故郷の惨状を見て、立ちあがったのが大橋房太郎であった。

その後、大阪控訴院検事長の河津 祐之との出会いを経て、裁判官をめざして上京していったその最中に淀川大洪水が発生したのじゃ。裁判官の夢を断ち、すぐさま故郷へ戻って米屋で生計を立てながら淀川治水に向けて奮闘する毎日。治水に熱弁する姿は米屋ではなく「淀川屋さん」と呼ばれるほどに。その覇気が衰り、戸長・村長に就任すると30歳でついには府議に当選したのじゃ。「淀川 大橋房太郎」と書かれたハガキ大の名刺を携え、国に陳情を重ねた結果、当時の松方正義総理大臣や伊藤博文との面談に「きつつけると、ついに、明治29(1896)年に河川法案および淀川改修議案が可決。「治山治水は治世の根本なり」とこの不屈の精神があったからこそ、今なお残る淀川河川の近代的な治水体系が完成されたんじゃ。

※わざと堤防を切り崩し、その反動で堤防の外の水を大川に戻す非常事態の手段。



碑の裏には防災の祈りが刻まれている(大阪府都島区網島町)

2025年9月現在の内容です。

大阪府社会福祉協議会 会員のみなさまへ  
福利厚生充実による人材確保と  
職員の皆さまに安心して働いていただくために

# 福利厚生団体保険制度

(業務災害総合保険)

- 特長1** 業務中や通勤途上のケガを職員の人数に関係なく補償します。
- 特長2** 職員全員を無記名で補償します。  
※パート、アルバイト、派遣職員も補償できます。
- 特長3** 職員の増員・入れ替わりも自動的に補償します。  
※年間総収入による保険料で、人数の報告・精算などは不要です。
- 特長4** 病気による入院の補償や、加えて、がん通院の治療費補償もセットできます。  
※病気を補償する特約については、事業主、常勤の法人役員、職員、常勤のパート・アルバイトの方が対象となります。



引受保険会社  
AIG損害保険株式会社 大阪プロチャネル営業部  
〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪タワーB 36F  
TEL:06-7223-2010 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)  
https://www.aig.co.jp/sonpo

取扱代理店  
株式会社 島本保険事務所  
〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号 大阪センタービル2階  
TEL:06-6252-4520  
https://www.shj.co.jp/

※この広告は保険商品の概要をご説明したものです。詳細につきましては、パンフレット等をご覧いただくか、取扱代理店または引受保険会社までお問い合わせください。 D-007991 2026-08